

ふじがわ

2 月 号 昭和59年 2月20日発行 No. 2 7 1

町 の メ モ

昭和59年 2月 1日現在	
人 口	17,023人
増 減	+20人
男	8,363人
女	8,660人
世帯数	4,358世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 総務課



町のこころの目標
「笑顔であいさつ明るい町に」

ダンゴや餅が

うまく焼けるかなあ!!

(写真は坂下区「ドンドン焼き」)

わたしたちの町に小正月の^{ひまつり}火祭りの行事として、昔から伝わっている「ドンドン焼き」が、1月14日(土)町内の18地区(15日は8地区)で盛大に行われました。

当日、各地区のドンドン焼き会場は、子ども連れの家族でいっぱい、オンベ竹のまわりに積み上げられた正月飾りや古いダルマなどが燃え上がり火勢が弱まると、一斉に三叉につけたダンゴや餅などを焼きはじめ、楽しい一日を過ごしました。

ちなみに、ドンドン焼きで焼いたダンゴはカゼの薬に、また、ダイダイはせきの薬になるといわれています。



町教育委員会・文化財保護審議会主催の「文化財特別展」が、1月26日(木)から1月30日(月)の5日間、民俗資料館、老人福祉センターで開催されました。同展開催中には約千三百人におよぶ見学者がおとずれ、はじめてのころみとしては大成功でした。そこで、今月号では、好評だった文化財展を取り上げて、みなさんにお知らせします。

特別展の目的は

わたしたちの町に、昭和39年3月文化財保護条例が施行されて以来、今年で20周年を迎えたことを記念し、町内に所在する貴重な文化財の保護と愛護を呼びかけるとともに、町民の文化向上に役立てることなどです。

ス製小玉など約40点
写真展示

展示した資料は

- ◎新豊院山門 ◎妙松寺山門
- ◎室野の庚申塔 ◎葉師如来座像(新豊院蔵) ◎聖観世音菩薩立像(新豊院蔵) ◎愛染明王座像(妙松寺蔵) ◎青面金剛立像(木島庚申堂蔵) ◎笠被り地藏(宗清寺蔵) ◎一里塚 ◎はたご池 ◎富豊七神社の権 ◎常盤家の楨 ◎慈林寺の楨
- (◎町指定 ○参考 ☆特別出品)
- ◎木島遺跡―木島式土器など約200点 ◎大平・送り神遺跡―縄文時代中期土器など約25点 ◎山王遺跡―縄文時代晩期土器など約80点 ◎浅間林遺跡―墨書土器など約200点 ◎松永遺跡―弥生式土器2点 ◎清水岩の上遺跡―弥生式土器4点 ◎谷津原古墳群―環頭大刀など約60点 ◎妙見古墳群―骨蔵器など

見学者の声

見学に訪れた小学生は、「こんなにたくさんいろいろなものがあるなんて知らなかったし、びっくりした。ぼくらの町は歴史が

具などが一堂に を約1,300人が見学

発掘した土器や 昔使った民 「文化財特別展」



あるんだなあ、これからの学校の勉強に役立ちます。」と、また、町外から訪れた男性は、「わたしたちの町にもいろいろの文化財が沢山あると思います。このように考古資料や民俗資料などを集めた展示会はやっていません。このような催しをこれから企画し、ぜひ開いてもらいたいですね。いろいろ勉強になりました」と話していました。

今後の計画などは

同審議会の芦川守正会長さんは、「今、私たちが、ともすれば忘れがちになっている先人たちの歩んだ足跡を見つめなおす意味からも、ここに文化財特別展が開催できたことは誠に意義深いものがあつたと確信しています。わずか5日の



子どもたちも熱心に見学

役場互助会茶室道部員もお茶の接待で

ひと役

展示期間ではあつたが千数百人の入場者を見たことも得がたい結果で、みなさん方に少しでも文化財についての真意を理解していただけたものと思つています。また、機会を得てこうした催しを場所を替えて企画したいと思つています」と話していました。

また、教育委員会は、「はじめの催しでしたので、いろいろと不備の面もありましたが、約千三百人の見学者が訪れてくれたことはある程度目的を達成したと思つています。今後、中野遺跡の整理がつきしだい、松野地区で少し形をかえて企画したいと思つています。また、今回展示した民俗資料はみなさんの善意により寄せられたものです。みなさんの家で昔使用して不用なものがありましたら、ぜひ資料館へ寄贈していただきたいと思います。資料として永く保存展示させていただきます」と話していました。

老人の交通安全教育役として

「老人クラブ交通安全推進員」を設置

1月23日(月)町老人クラブ連合会(川村清会長・会員千七百七人)は、町内の地区老人クラブから選ばれた27人の代表者に「老人クラブ交通安全推進員」の委嘱状を手渡ししました。

老人クラブ交通安全推進員 (敬称略)

- 同推進員は、町内で増加傾向にある老人の交通事故防止を地区老人クラブの中から行っていこうという主旨で設置され、今後、地区老人クラブの交通安全教育役として活動していきます。
- 同推進員設置にあたり、同会の川村会長さんは「推進員の名前は54年からありました。が、有名無実のものでした。私たちの町でも老人が関係する交通事故などが大変増えていますので、定期的に少し遅かったような気がします。老人は現在保護される立場にありますが、諸経費をつんできた熟年層として、自分たちが自分たちの仲間でもまず交通安全ルールを守り、自己防衛をやつていく時代です。そうし

県知事表彰を受彰

「舟山町区自主防災会」

1月29日(日)中部地区自主防災大会が、静岡市の県農業会館で開かれ、当町の「舟山町区自主防災会(瀧利雄会長)が、県知事表彰を受けました。

同会は、予想される東海地震に対応するため、昭和53年11月現在の区の組織をそのまま取り入れた会として発足しましたが、区役員が交替制のため、活動に障害が生じて十分な訓練ができませんでした。そこで、新しく役員任期などを決め、東海地震のみでなく火災や水害などあらゆる災害に対応できるように、このたびの表彰となりました。

地震ひとくちメモ

マグニチュードと震度

「マグニチュード」(M)とは、地震の規模そのものを表わす指標で、「震度」とは、各地域の揺れの強さを表わす指標です。いい換えれば「マグニチュード」は電球のワット数のようなものと考えればよいわけですが、つまり40ワットの電球より100ワットの電球の方が明るいわけですから、つまり光源の明る

町内の10チーム 郡駅伝競走大会で健闘



次はたのむよ (小池中継点)

マラソン日和に恵まれた2月5日(日)、庵原郡陸上競技協会主催、庵原郡中学校体育連盟など協催の「第22回庵原郡駅伝競走大会」が、小学生から一般チームまで24チーム(選手24人)が参加し、庵原三町15・7km(6区間)のコースで行われました。

24チームの選手は、前年度総合優勝チームの香田理君(第二中学校2年生)が、力強く選手宣誓を行った後、午前10時由比駅前をスタート、当町の相生町公民館前を折り返し、ゴールの蒲原町役場を目指して熱戦をくりひろげました。

町内のコースの沿道には、町民のみなさんがはやくからかけつけ、選手が通過するたびに、盛んに声援を送っていました。

町内から出場した10チームの成績は次のとおりです。

- ◆総合の部 三位一中B
- ◆一般の部 四位富士川一般
- ◆中学の部 二位一中B 四位一中C 八位二中A 九位一中A 十位二中B
- ◆スポーツ少年団の部 一位二小A 二位二小B
- ◆女子の部 一位二小 二位二中

親子で楽しく新春の一日を 富士川子どもつどいで

新しい年の出発の一日を、親子で自由楽しく遊び、親子のふれあいを更に深めようというのを目的に、第一小学校PTA主催、子ども世話人会などが後援の「第10回新春富士川子どもつどい」が、15日(日)河川敷スポーツ広場やダンプ道路を会場に、親子約700人が参加して盛大に行われました。

当日参加した親子は、事前に地区子ども会が用意した遊具などを使い、グラウンドいっぱいにとびはねて楽しい一日をすごしました。



このタコウまく
上がるかなあ



手を切らないよう
にうまくけすつ
てね

町の

(竹とんぼ
づくり)

富士松野区子ども会 三年連続優勝

1月15日(日)松野地区子ども世話会連合会(渡辺秀之会長)主催の「第23回松野地区子ども会駅伝大会」が、松野地区12・5kmのコースで行われました。

同大会は、子どもたちがマラソンを通して、くじけず最後までやり通す強い意志を養うことや健康な体力づくりなどを進めることを目的として行われました。当日出場した9チーム(3年生から6年生・23人)の選手は、寒風をうけて顔をまっ赤にしなが



力走する選手ガンバレ(矢所)

一月の交通事故 出合頭の衝突事故多発

1月町内では、人身事故3件(9)、物損事故4件(3)、合計7件(12)の交通事故が発生し、3人(12)が怪我をしました。(内は昨年)

7件の事故を路線別に見ると、国道1号線1人身1件・物損1件、富士川身延線1物

損1件、一般県道1人身1件・物損1件、町道1人身1件・物損1件です。これらの事故は出合頭の衝突が最も多く、運転者が安全義務を遵守すれば防げた事故もあります

町民のみなさん一人ひとりが思いやりとゆずり合いの心を持ち、正しい交通ルールとマナーを実践して、交通事故を減少させていきましょう。

わだ い

に両日とも大きな混乱はおきません

第二小学校に 応援歌が誕生

町立第二小学校にこのたび応援歌が誕生し、2月4日(日)郡駅伝競走大会に出場する選手を送行会で披露されました。

この応援歌は、「ぼくたちの学校に力強い応援歌をつくろう」と、同小の児童会(木伏英史会長)が、昨年の4月頃から計画し、全児童から寄せられた詩の中から、優秀な5人の詩を合作し、佐藤菊江先生の作曲で完成しました。

富士川第二小学校 応援歌

一、我ら二小 がんばる二小
はだして走った
あの自主トレで
楽しいときも
苦しいときも
汗をふきふき がんばった
二小の力を 見せようよ
山も呼んでる 優勝を
二、我ら二小 がんばる二小
はださず風にも
フアイトで行こう
うれしいときも
悲しいときも
声をかけ合い がんばった
二小の力を 見せようよ
山も呼んでる 優勝を

19日・31日 町全体が銀世界に

今年は例年になく、きびしい寒さが続いています。1月19日(木)・31日(火)の両日当町では大変めずらしい雪が一日中降り続き、町全体が銀世界になりました。

となりました。一夜明けてもこの雪はとけず、足ヶ久保・鷺田両地区では、早朝から道路に積もった雪の除雪作業を総出で行いました。また、31日は松野地区を中心に約4〜5cm積雪し、県道富士川由比線の木島から馬坂間や19日と同じ路線が再び通行止となりました。幸い



雪化粧した野田山広場



積雪したグラウンドで元気よく
(二中)



足ヶ久保・鷺田地区も
総出で除雪作業



雪化粧した室野区



積雪のため道路も
交通止 (上町室野線)

県体育協会会長表彰に 久保田幸男氏



久保田幸男氏 (相生町)

町体育協会会長の久保田幸男氏が、11月19日静岡市で行われた静岡県体育協会創立55周年記念式典の席上、長年にわたるスポーツ振興の功績により、県体育協会会長表彰を受賞しました。

同氏は、昭和32年設立された町体育協会の発起人となつて以来、組織の充実をはかる一方、みずから先頭に立ち、スポーツの普及、指導や選手養成を努め、また、県体協評議員、県スポーツ祭委員会委員などの要職を歴任し、町民の体育向上に貢献してきました。

このたび、この功績が高い評価を受け表彰のはこびとなりました。



広報ディスプレイ
2月号のテーマ
わが母校
恩師

提言者 曾我久子さん(37)
(東町二)

親と子の母校

大北町 望月昇さん(42)

私の母校は第二小学校である。私たちの時代には幼稚園がなく、はじめての団体生活の場が小学校一年生であった。だから、今の一年生とはくらべものにならないほど子どもばかりのような気がする。

そうした中で先生との出会いは、子どもながらに強い印象と大きな影響を受けたものである。だから、いまだに担任の先生をはじめ何人かの先生は、私の記憶の中に鮮明に残っているのである。ところが、親子二代にわたって母校も恩師も一緒になろうとは。

あの時にもう少し頑張ってお

現在の二小には昔の面影はまったくない。立派な校舎と、それを取り巻く環境に接するときに、時代の変化を痛感する。しかし、先生と生徒の心のふれ合いや結びつきは決して変わることはない。むしろさらに強く

懐かしき

富士川第一中学校
本通四 谷万知子さん(34)

この町に生まれ育った私たち夫婦は、よく小学校や中学校の校歌、また、応援歌や生徒会歌を子どもと一緒に大合唱します。そして子どもの頃の思い出話に花を咲かせるのです。小学校も中学校も私たちの頃のた



ますが、目を閉じれば、その光景を

木造校舎と赤い屋根、青空に土手の松の緑が映えるその色彩の美しさを心にとめていらつしやる方は少なくないでしょう。そんな美しい環境の中で中学校生活は、その後の高校・短大の生活にも増して充実したもの

だったように思います。校内には、教育の情熱に燃えた先生方とベビーブームで激しい競争を余儀無くされた生徒たちの、勉強にも運動にも真剣に取り組み姿があちこちに見られました。

また、夏休みには、一年生の沼津静浦小に泊まっていたの浜水泳、二年生の上井出の中学に泊まっていたのキャンプなどがあり、20年たった今でも、楽しい夏の行事をついさうのうのうのように思い出します。

立春を過ぎて春の気配を感じ始める頃になると卒業式が懐かしく思い出されます。苦しい受験勉強に明け暮れる日々後のあの晴やかな卒業式。お世話になった先生方や在校生の拍手の中、講堂を出て堀川の橋を渡る、胸が熱くなるようなあの光景が見られる日が今年もまた近づいています。

私の恩師は

富士松野 石田茂子さん(45)

今から約13年位前の中学2・3年と、たったの2年間だけ私の思い出に残る一人の先生がいます。その先生こと山中朝二先生は、ハンサムとはいえないけれど、友だちのような先生で

でもうれしかった。数学の先生できびしく、問題が解けないと廊下の端から端を雑布でふき掃除。長い廊下をふきながら、つかの間、授業をさぼれたことを喜んだり、問題の解き方を途中



で考えたり、結構楽しい掃除でした。思い切り握ったこぶしを頭の真上から落とすげんこつも痛かった。痛みは「ジワジワ」ときます。答えも「ジワジワ」と出てくれればいいけれど出てきません。痛みをかみしめながらの廊下ふきは、なつかしくもう一度やってみたいと思います。

同じ富士川町に住みながら、何年もお会いしていません。先生、同級生のみなさんのご健康をお祈りします。



提言者 芦川由希子さん(33) (木島)

3月のテーマ

ぼくもわたしも1年生

娘に届いた一通のハガキは、第一小学校への入学通知書でした。娘は笑いながら「うれしいなオコ。朝は早く起きるし、仕度も早くするよ。お兄ちゃんと一緒にバスに乗って行くんだね」と話していました。次の日からさっそくおねぼうさんを返上し、6時にはお兄ちゃんと一緒に元気な声で「お早ようございませう」と起きてきました。前の晩には、自分の決めた洋服をストロブの前にきちんと置き、少々時間をかけながらも着替をすませ朝食をとります。入学までには、まだ約二カ

れば、幼稚園に通うより一時間バスの時刻が早くなることを十分考え、今から慣れておこうと、一年生のお兄ちゃんの指導よろしく一生懸命がんばっています。暖かな春も、すぐそこまでやってきました。入学式の4月5日までは、わが家のスターとして話題を独占してください。

この4月から、入学や就職するみなさん、新しい学校・職場でのあなたの夢を投稿してみませんか。

投稿者へ

- ◎ 3月のテーマ ぼくもわたしも1年生
- ◎ 字数 400字づめ原稿用紙一枚以内
- ◎ 締切り日 3月5日(月)まで
- ◎ 投稿先・問合せ先 富士川町役場・総務課 岩淵刈番地
- ◎ 注意事項 匿名者の原稿は掲載しませんが、必ず住所・氏名・年齢を記して、締切り日までに投稿してください。

した。人間だれでも嫌いな物があるのに、私はよくよわみにつけてこんでイタズラばかりして、そのたびに怒られたものでした。その時の私はすでに父をなくしており、心から叱ってくれる人がいなくなっただけに、余計忘れられない思い出になっていくと思います。

油のしみた

学歴簿

舟山町 植松良三さん(64)

恩師のくれた

贈り物

木島 常盤和子さん(34)

私の恩師

富士松野

田辺玲子さん(32)

私には大切にしている黒い表紙の小学校の学歴簿がある。この学歴簿を見ると色々の思い出が浮かんでくる。私たちは、大正15年富士川小学校に入学した。当時は幼稚園は無く、生徒の半数は洋服を着ず着物であった。一年の担任は、師範学校出た

中学の二年間、担任としてお世話になった「村山先生」のお名前がまず思い出されます。中学を卒業して17年になりましたが、お正月には必ず年賀状をくださいます。今年も元旦の年賀状の束の中にありました。と

ての佐野きく先生で、なかなかきびしい先生でした。毎学期学歴簿を貰い、家に帰っておおそるおそる父に見せる。父はあまり文句をいわなかったが、「操行」と「修身」は甲でないとご気嫌が悪い。「約束を守り他人に迷惑をかけてはいけない」というのが父の教育であった。学歴簿は父が印を押すと佛壇に上げ祖先に報告。学校に持って行くまで置いてあったので、線香の匂いと燈芯の油が学歴簿にしみついてしまったのである。きびしくもあり、やさしかった父も今は亡い。そして、小学校を卒業し、希望を抱いて静岡中学の門を入ったのは、昭和6年の桜の美しい季節であった。

私が小学校の時に、受け持っていた先生と24年ぶりに会うことができました。先生のふくよかな飾り気のない語りは、私を当時にどしどし、母親のような安心感で話をさせてくれました。小学校の頃、身体も弱く、何の取り得もない私に、先生は「あなたは本を読むのがう

ママさん記者が取材中



富士川町勤労者協議会

全通(郵便局)、日本通運、白石工業(株)、教組、国鉄、富士川製紙(株)、本州製紙(株)の7つの会社・官公署に勤務し、各組合の組合員で、町内に在住している人たちです。

①、スポーツ交流会として、年1、2回の球技大会(ソフトボール・ボーリング)の開催。
今年7月、50人ほど参加してボーリング大会を実施しました。また、4月の日曜日には、河川敷スポーツ広場で、ソフトボール大会を予定しています。

心あたたまる楽しい一時でした。

②、共同募金歳末助け合い運動。会が発足して以来、20年間この運動に参加しています。

③、交通安全の立看板の作成。
交通事故防止の一環として、駅前、旭町シズオカヤ前、坂下、第二・小中学校前の4カ所の歩道橋付近に設置しました。

その他、会員のみなさんは、青少年育成の影の力となるように、普段から心が



岩崎会長さん・石川事務局長さんにインタビューするモニター

(広報モニター 中沢 雅)

けをしているそうです。これらの活動資金は、会費、町からの助成金、有志からの寄付金などでまかなわれています。同会の岩崎会長さんは、「この会の火を消すことなく、今まで築き上げてきたことを大切にしたい」と話していました。

最後に、10年間会長を務めてきました岩崎さんが、今年で退任されるにあたり、現在の心境を一言

八百潮におし流されず

残り少ない職にはげま

社会教育の自立

もの申す文化財

先月の終わりに町の老人福祉センターを会場にして「町文化財特別展」が盛大に開催された。あの展示物を見て人々ほどの様な感想を持ったのだろうか。私は、あの土器の紋様、精巧に細工をした矢じり、使いこなしした農機具、日用品の数々から先人が物を制作する時の気概や活用する場の情念、自然愛といった高い精神文化に触れた様な気がする。

想像してみると、当時は今の我々が想像もできない貧困な生活を余儀なくされた時代であったろうし、大人から子どもまで食うための戦いを強いられたことだろうと思う。だからこそ武器や道具の制作には執念に近い魂をつぎ込んだものと思われる。

そんな貧しさの中でも、先人達は、土、光、水という自然の恩恵を受けつつ、一方でそれらに対し畏敬と感謝の心を持つことを忘れなかった。だから、あの様にもい

わぬ器物にも肌に通じる温かさが感じられるのかもしれない。「美しい自然に貧しさが加わってこそ、はじめてより高い精神文化が生まれる」けれどこの名言が当を得ていると言える。

この中で言う貧しさとは、食料、衣料等も含めて自然的、環境的な貧しさをも指しており、近年、環境整備と称して自然破壊してまでも公共施設に色とりどりの既成品並べたてることは逆を意味する。

現代は、崇高な精神文化を生み出す貧しさを期待するには、あまりにも豊かすぎる。かつて、貧しさの中でみつけたイモリやカエルの生命の強さ、はかなさ、椎の実やくわの実が教えてくれた食べ物のありがたさなどを人々は忘れずにはいないだろうか。今、私たちは貧しさとは絶縁状態にある。こうした人が、人を低い精神分化に追いやる警告として、今回の特別展が自然と貧しさの持つ尊さを示唆してくれた気がしてならないのである。

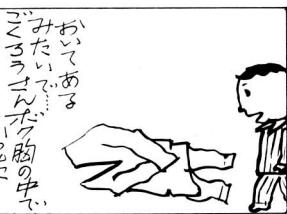
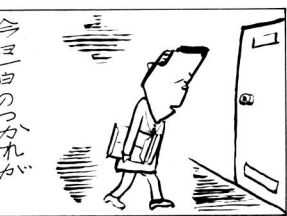
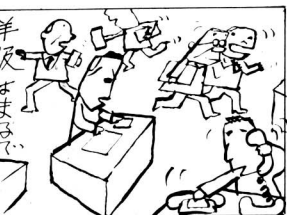
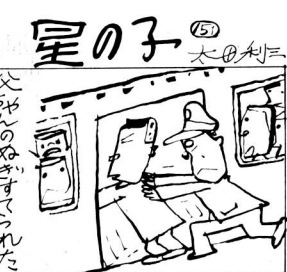
ふるさと探訪

石仏巡礼(六)

木島の不動尊

山梨交通木島バス停で降りると西方の山の中腹に突出された大岩が見える、これが大日岩といい、大日如来をお祀りしている。その右側の谷に不動の滝が、下手にお堂があり木島の不動さんである。部落の北はずれから西上手の道を登ると、不動道の道標と常夜燈があり、しばらくしてお堂につく、ここから更に谷に沿って登ると滝に至る、ふだんはあまり水は落ちていない。この滝の兩岸の岩壁の洞に不動明王の石像が三体祀られている。左側、祠形の石室の中に高さ60cmの不動明王像、記録な

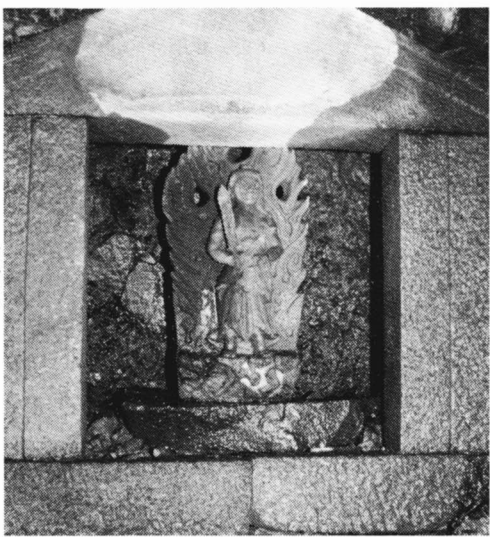
く詳細不明であるが見事な石仏である。(下の写真)。その前面



に軟石で造られた石仏一体と石塔があり、明和四年岩瀬村、青柳氏の造立されたものである。滝の右側に高さ55cm、火焰を戴いた明王の石仏があり、宝暦年間、円通寺住職白峰により建立と記録されている。又二月末の縁日に御開帳される、木綿20反に画かれた不動明王の画像も見事のものである。

不動明王は仏のやさしい姿では教化できない強情な衆生に大忿怒の形になって説得する如来の変身とされ、怨敵退散、災難即滅が本誓であり治病、安産、災害除去、財産取得など種々の祈願をかなえてくれるときれ、人々の厚い信仰を今でもう

芦川守正



室野の庚申塔

まちの指定文化財(三)

建造物 室野の庚申塔
昭和58年10月5日指定
指定番号 17号

南無三寶荒神 施主
本師釈迦牟尼佛
南無観音菩薩

「室野の庚申塔」は、室野区入口に題目塔、馬頭観音などともに祀られています。同塔は、今から326年前の明暦4年9月(1658)に建立され、塔身が長く、隅飾突起が外に反り開き、相輪が裝飾された宝篋印塔の型で、総高163cm(基礎28cm、台座22cm、塔身48cm、笠28cm、相輪37cm)の大きさです。

同塔の台座には、向い合う二匹の猿が彫られ、その内、一匹の猿は合掌の姿をしています。また、塔身の上部には二羽の鶏が彫られ、正面には

側面には、建立年月日の文字が刻まれています。庚申と猿が結びつき、猿が庚申塔に現われてくるのは、江戸時代の承応年間(1652〜1655)といわれています。三匹の猿が中国の道教の教えにある三尸になぞらえ、三猿がそれぞれ、目、口、耳をふさぎ、悪事を天帝に告げるのを封じる姿になったのは、しばらくしてからのことです。

同塔は、その過程が現われている大切な資料であるとともに町内に20数基ある庚申塔の中で最も古く立派なものであり、当町にとって大変貴重な塔です。



室野庚申塔

戸籍の窓

昭和59・1・1〜1・31届出
(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者続柄
上町	齋藤弥世	隆久 長女
〃	山口裕司	和也 長男
旭町	北澤慶二郎	洋一 長男
〃	佐野二十三	好男 長女
堺町	岩永麻見	薫 三女

川坂	濱田章子	敏男 二女
四十九町	芦川実那	勝己 長女
大楽窪	高橋幸浩	恒夫 三男
〃	齋藤恵	善則 長女
本通一	和田晋一	和夫 長男
幸町	金沢麻衣	浩 長女
〃	高田文	芳文 二女
東町一	鈴木祐貴	茂美 長男
富士見町	木伏美智	正勝 二女
富士松野	小泉綾子	久 二女

清水町	深澤洋二	一史 二男
大北町	小林智	一三 長男

かなしみ

区名	氏名	年齢
上町	笠井虎夫	五八
旭町	西ヶ谷喜作	七四
本通四	田中たけ	六七
東町一	武尾保男	七三
〃	加藤守正	五六
南町一	錦織静江	六〇
南町二	稲川廣吉	七九
八幡町	久保田重作	七四
大北町	蓮池ちか	八九

お母さんの知恵袋

!!ビタミンB¹をたっぷり!!
 ビタミンB¹は体内で、でんぷんがエネルギーにかわるのを助ける働きをします。B¹の不足が重なる、食欲がなくなりだるくなつて、ひどくなると筋肉痛をおこしたり脚気になります。ビタミンB¹を多量に含む食品としては、豚肉、ハム、たらこ、すじこ、ピーナッツ、豆類、しいたけ、さつまいも、ぬかみそ

のつけもの(古づけの方がB¹がよくしみこんでいる)などがあります。酵母や胚芽などにもB¹はたっぷり含まれています。また、にんにく、にら、たまねぎなどには、腸内細菌と助け合つて、ビタミンB¹を多量につくり出す成分が含まれています。薬味や味つけに利用するのは、理想的な摂取法といえます。ビタミンB¹は、水に溶ける性質がありますから、ゆで汁などには、かなり溶け出します。またあまり長い間(2時間以上)煮るとビタミンがこわれ

富士川短歌会

一月詠草(天野寛選)

本通一 長橋 安子
 押花の迎春花をわれは持つかの
 満州の野に咲きしもの

四十九町 塩川 恒子
 低迷する蜜柑に見切つくるらし
 チェンソーの音ひびく幾山

上町 水口 大礼
 家に飼う鶯やうやく鳴き始む凍
 てつく今朝も春をつげたり

宮町 荻野 敏音
 うす晴き雑木林の間より寒の月
 照らす湯上りの吾に

宮町 若月 幸江
 白じらと柔毛被りて木蓮の花芽
 ふくらむ大寒の庭に

旭町 吉田 令子
 寒気冴ゆ一月二日の初出勤高め
 の靴に胸張りてゆく

新町本町 深沢千代子
 車窓より見ゆる山麓一面に粉ふ
 りし如く霜白くして

小池 佐藤 ちよ
 枯芝のぬくもる上に腰おろす我
 が前よぎる目白の影が

木島 角替千鶴子
 大晦日の村の社につききたの餅
 を供えて子等帰るゆく

相生町 長谷川ゆり子
 天に向い小さき咽より高らかに
 時つぐる矮鶏飼いはじめたり

一里塚



最近、頻繁に報道される子どもの事故や行動についての悲しいニュース。マスコミに影響されて物事を判断する基準もまひし、連鎖反応的行動が生じているのではないだろうか。

自分たちの生活を顧みても、「やった」という満足感を得る時は、何か大きな課題、壁にぶつかって悩み、いろいろな障害を打ち破り、それを乗り越えた時だと思ふのです。でも、現在の子どもたちは、その問題を大きく感じ、自分の力ではどうにもならないと思うと意欲をなく

し、心を閉ざしてしまう傾向があるように思います。あまりに便利で豊かな生活の中で子どもたちは、耐えることが少なくなつたように思います。家庭でも、塾通いや勉強さえしてくればありがたい。家の手伝いは、時間のロスと考え、過保護、わがまま育ちの家庭が増えているともいえます。身の回りの始末をも親に頼り、下校になると家に直行し、けとばす石も、むしろ草もなく、近所の子とたわむれる時もなく、ひたすら行動性を抑えられて生活している気さえします。このような子どもたちを見るにつけ、小さい時から積み重ねた数々の生活体験、自然の中での友との感動体験、家族と共同作業をする場などの大

切さを感じます。これらの経験を活かすことによつて、生活の知恵も生まれ、成長と同時に情緒の安定も計られ、忍耐力、意志力など吸収していくものではないかと……。困難に出逢つた時、失敗した時など、乗り越える気力は、五感を通して味わつた貴重な体験から得られる気もします。それぞれの家庭で自分の子どもにも責任をもち、人間として生きていく知恵を身につける応援をゆつくりとしていきたいものです。 望月

町への寄付金

(敬称略)

十万円	社会教育費に
S 59・1・12	
田辺 次郎(本通一)	